

金山町町制施行 100 周年記念事業推進計画

悠久の四季めぐる金山町



令和7年10月9日（第8回実行委員会）
金山町町制施行 100 周年記念事業実行委員会

1 基本理念

大正 14 年 1 月 1 日に町制を施行し、令和 7 年 1 月 1 日に満 100 年となり、県内では大蔵村に次ぎ、町では初となる町制施行 100 周年を迎えます。

本記念事業は、これまでの町づくりの歩みへ敬意と感謝を示し、全町をあげて祝う機会とし、町民が誇りと愛着を胸に「新たな 100 年を迎えに行く」という機運を高め、次の未来へ力強い一歩で、強く美しい金山杉のように町の年輪を刻んでいきます。

2 基本方針

- (1) 金山町に関わる全ての町民・団体・企業を主体とします。
- (2) 金山町の歴史や魅力を再認識し、郷土への愛着と誇りと共に次世代へ継承していきます。
- (3) 金山町の地域資源や文化を人々が楽しみ、その魅力を広く発信します。

3 実施体制

- (1) 町制施行 100 周年記念事業実行委員会
記念事業を全町で盛り上げるため、①町、②区長公民館長連絡協議会、③町議会、④各種団体で実行委員会を組織します。
- (2) 町制施行 100 周年記念事業部会
記念事業の企画や関係者及び実行委員会との調整を図るため、庁内組織（作業部会）を設置します。

4 実施期間

準備・プレ記念事業期間	令和 5 年 8 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで
記念事業期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで
ポスト記念事業期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

5 期間別テーマ

「これまでの歩みへ敬意と感謝を」

これまでの歴史を振り返り、改めて町の魅力を再認識する機会にします。

——令和5年度——令和6年度——100周年（R7.1.1）——令和7年度——

「準備・プレ記念事業期間」 → 「記念事業期間」 → 「ポスト記念事業期間」

「町民の皆さんと迎えにいく新しい時代」

全町をあげて100周年を祝い、未来を想像し、夢を語り、次世代へ一歩踏み出す機会とします。

6 記念事業の内容と町民の関わり方

記念事業共通テーマ：「**歓喜と感動で心を動かす**」

多くの町民の方がそれぞれの立場や機会に各記念事業に参加いただき、歓喜と感動を通じて「心を動かす」場面を多く創出していきます。

そして次世代へ地域資源や文化を継承するために、何が必要で、どのような価値があるのかを見極めながら、町民一人ひとりが感じ、考え、行動することで、未来の町が担うべき役割についても明確にしていきます。

【主な事業内容】

- （１）記念式典、祝賀会の開催
- （２）広報
- （３）映像制作
- （４）新しい町づくりビジョン策定
- （５）記念品、グッズ製作
- （６）芸術祭の開催
- （７）記念イベントの開催（既存イベントの拡充等）
- （８）町の花・鳥の制定

【各事業概要】

分 野	事 業 内 容
1. 記念式典	① 記念式典・祝賀会の開催 ※式典は(株)ハイスタッフ様 時期：<u>令和6年10月5日（土）</u> 場所：式典は金山中学校体育館 祝賀会は農村環境改善センター 出席者実績：式典 439 名、祝賀会 111 名 （招待者 273 名、中学校・新庄南金山校 166 名） ※式典の様子は広報 R6. 11 月、町公式 YouTube へ掲載 ※式典及び祝賀会スタッフとして 100 名の町民が協力
2. 広報	① 記念誌の作成 ※ホシカワデザイン様 R7. 5 月配布 ② 町広報での特集記事や創刊時期の記事の掲載 ③ 新聞広告（R6. 10/5 式典当日、R6. 12/31 山形新聞へ掲載） ④ テレビ番組（BS 吉本、YBC 式典特番） ⑤ ロゴマークとキャッチフレーズの活用 ⑥ R7 元旦祝砲と町長メッセージ ⑦ 町政 PR 山形新聞広告 R7. 12 月掲載
3. 映像制作	① 式典や HP 用動画制作 式典用映像は(株)アドビューロ様「金山の道、百年の光。」 ※20,420 回再生（R7. 9. 12 現在）、受賞歴は別途記載 ② 歴史、風景、町民メッセージ、応援メッセージ等
4. 新しい町づくり ビジョン策定	① 町の計画と連携した指針の策定 「未来ビジョン宣言」※式典で発表、広報 R6. 11 月掲載 ② ロゴマークとキャッチフレーズの活用（再掲）
5. 記念品、グッズ 製作	① 記念事業限定のグッズ ② 町民向け記念品（ミニバラ R6. 9/26-29 各地区で配布） ③ その他記念グッズ
6. 芸術振興	① 芸術祭の開催（絵画展示等） ② 記念誌へ掲載した古写真を一部展示 （デジタルアーカイブへ掲載中）
7. 記念イベントの 開催	① 冠事業の開催（既存事業の拡充、新規事業の開催） ② 各団体や町民提案型事業の開催 ※詳細は別途記載のとおり
8. 町の花・鳥制定	別途記載

●記念イベント等へのアイデア募集は 19 件（11 名）の応募がありました。

ご提案の中から実施する事業は「音楽フェス」「記念ソング」「記念Tシャツ」「歴史的講演会」「まちの絵コンテスト・写真コンテスト」「写真集（記念誌、デジタルアーカイブ）」「絵画展」「大綱引き大会」「金山杉を使ったモニュメント等（チェーンソーアート）」「みすぎ荘参加型の100周年記念縁日（みすぎ荘納涼祭）」「ホテル宿泊キャンペーン（温泉手形）」「100年先へ繋げる打ち水プロジェクト」など12件を実施しました。

7 記念ロゴマーク・キャッチフレーズ

記念事業を広くPRするため、記念ロゴマーク・キャッチフレーズについて募集を行いました。ロゴマークは4件（2名）、キャッチフレーズは21件（11名）の応募があり、審査の結果、下記の作品に決定しました。今後、各種印刷物への掲載、広報紙、記念グッズやホームページなどへ活用していきます。

（1）ロゴマーク

作成者 ホシカワデザイン 星川忠平さん
最優秀作品



【作品の説明】

金山町を象徴する様々な要素を組み合わせ、「100」の文字の中に盛り込んだ。100年のお祝いにふさわしい華やかさと賑やかさを表現した。

（2）キャッチフレーズ

作成者 十日町 佐藤 拓也さん
最優秀作品

悠久の四季めぐる金山町

【作品の説明】

久しい過去に始まって、変わらず続き100周年の歳月を経ても回ってまたもとにもどる四季折々という町を表現した。

8 記念グッズ等について

(1) エコバック (2,000 枚)

※式典記念品を入れ配布等



(2) クリアファイル (2,000 枚) ※イベント等で使用



(3) チラシ付ポケットティッシュ (2,000 枚) ※イベント等で使用

チラシサイズ 103×73mm



(4) のぼり (100 本) ※公共施設やイベント等で使用
※梅雨明けから山崎～羽場の国道沿いに掲揚



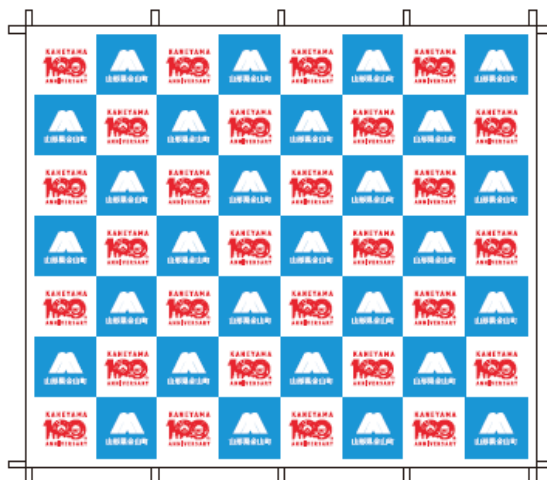
(5) ポスター (2,000 枚)

※イベント等で使用、商品券取扱店へ配布

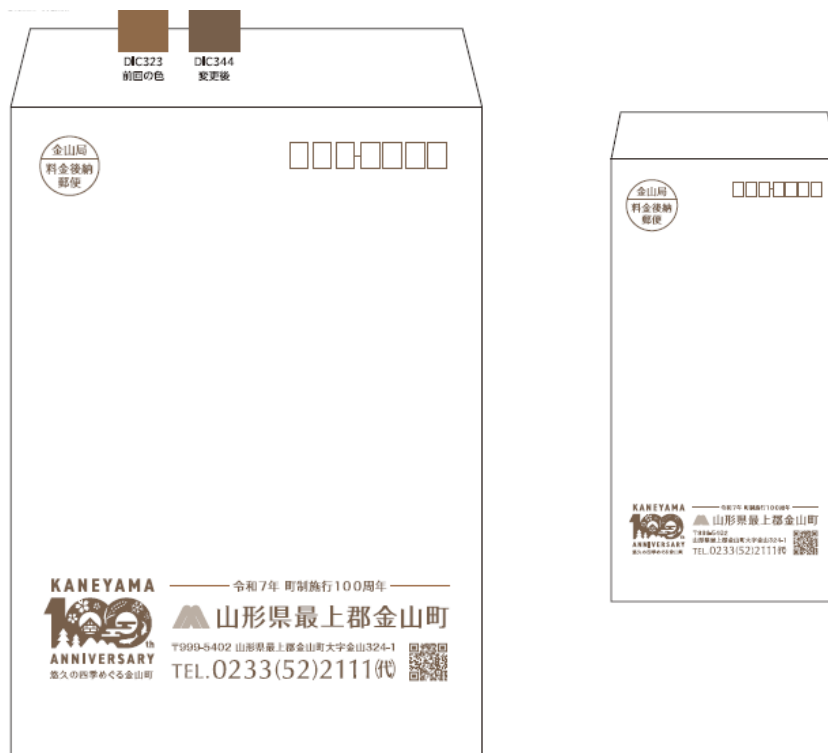


※上記はイメージです

(6) バックパネル (1 台) ※イベント等で使用



(7) 封筒 (20,000 枚ずつ)



(8) 看板 (横看板：役場正面玄関、町民ホール、改善センター)

(縦看板：役場玄関自動ドアガラス、改善センター玄関、診療所)



(9) 式典記念品用詰め合わせ (2,000 箱)

※式典出席者へ配布、他イベントで使用

◎詰合せ商品画像



◎箱デザイン画像



(10) ステッカー (各 1,000 枚) ※町民要望により制作

① 通常版



祝・金山町町制施行100周年 KANEYAMA 100th ANNIVERSARY

② 式典版

祝・山形県金山町町制施行100周年



③ デジタルアトラクションイベント等



(11) ポロシャツ



(12) イベントうちわ



(13) 名刺



(14) 広告 ※全体デザインはホシカワデザイン 星川忠平さん

① R6. 10. 5 山形新聞

② R7. 1. 1 山形新聞

9 町の花・鳥の制定について【応募人数：29名 花：49件、鳥：35件】

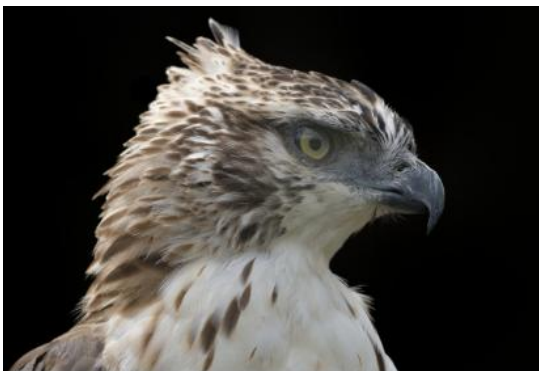
①花：「カタクリ」

保全活動も活発に行われ群生地もあり、発芽から7～8年の四季が巡りようやく花が咲く。春を告げる花として親しみがある。

群生地の保全により、美しい里山の風景を未来へ継承していく。



②鳥：「クマタカ」



県内では最上地方を中心に300-500羽の生息が推測される絶滅危惧種の猛禽類。町内では杉沢、有屋、飛森付近でよく見られ、森の王者とも呼ばれる。金山三山のひとつに熊鷹森（390m）があり、町民にとって身近な存在。

新しい時代を雄大に羽ばたくシンボルにふさわしい。

以下、事業概要

（1）目的

町制施行100周年に合わせ、町の花・鳥について制定し、金山町の豊かな自然を町内外にアピールしイメージアップを図るためのシンボルとする。また選定された花と鳥を加えた「金山町緑の憲章」を令和7年1月1日付で改定し、金山町の美しい自然の継承や保全の機運を高める。

(2) 選定基準

金山町に実在し、町民に親しまれるシンボルとして発信していけるものであること

(3) 選定方法

町民からの公募と専門家等の意見により案をまとめ、パブリックコメントや100周年記念事業実行委員会へ諮り決定した。

選定については、公募結果を総務課、産業課でまとめ、専門的知見から樹医の松坂幸夫氏（内町）や森の案内人の方から意見をいただいた。

(4) スケジュール

時 期	実 施 内 容
R6. 4. 5	広報4月号回覧時に応募用紙を同封・応募開始
R6. 5. 24	応募締切
R6. 5 月下旬	結果集計と候補決定
R6. 6 月中	有識者会議開催
R6. 6 月中旬	議会へ応募状況等を報告
R6. 7. 9	第4回実行委員会へ候補案を報告
R6. 7. 19	お知らせ版7月号へパブリックコメント募集記事掲載
R6. 9. 5	町議会9月定例会で最終案・緑の憲章案行政報告
R6. 9. 17	第5回実行委員会で最終決定、緑の憲章を報告
R7. 1. 1	町制施行100周年 ※金山町緑の憲章改定日
R7. 1 月	広報1月号で発表
R7. 5-7 月	ロゴデザイン案制作 ※実行委員アンケート実施
R7. 9 月	ロゴデザイン案を議会へ提示、決定
R7. 10 月	ロゴデザインを実行委員会へ提示
R7. 12 月	山形新聞記事、産業課絵本制作事業でロゴのお披露目、PR (ロゴの掲載やカタクリ、クマタカを紹介)

(5) ロゴデザイン

制作者： ホシカワデザイン 星川忠平さん

【作品の説明】

花鳥木それぞれの特徴を強調し、循環する生態系をイメージした円形のなかに収め、小さく使用する場合の視認性を考慮し、絵柄をできるだけ簡略化した。

【選定理由】

クマタカや金山杉の力強さが表現され、他自治体のロゴと被らない個性的な形状とデザインであること。

【実行委員より寄せられたご意見】

- ・概念にとらわれず創造・想像力を感じさせる。Tシャツや帽子のマークに良い。
- ・クマタカが躍動的に描かれていて、金山町が世界へ羽ばたくこれからの100年の姿を象徴している。自然生態系の頂点のクマタカが俯瞰している姿が、金山町のシンボルであるスギ、ブナ、ヤマボウシ、カタクリと共生する町の自然環境の素晴らしさを見事に表現している。
- ・森林のイベント、カーボンニュートラルのイベントなどのポスター、のぼり、グッズで使用。施設へのデザインロゴもよい。
- ・躍動感がある。タオル、Tシャツやパーカーのロゴに良い。



(白黒バージョン)

(6) 使用イメージ

- ①生態系の広報を通じて、金山町の美しい自然をPR（広報、HP等）
- ②カーボンニュートラル事業と連携し、美しい自然の保全への意識向上へつなげる

使用例



タンブラー



エコバッグ



名刺

(7) 近隣市町村の制定状況

新庄市：あじさい、最上町：梅、りんどう、山鳥、舟形町：こぶし、きじばと、
真室川町：梅、ウグイス、大蔵村：りんどう、やまどり、鮭川村：みちのくひめゆり、
戸沢村：ヒメサユリ

(8) 金山町緑の憲章 ※R.12月議会で行政報告

下記へ花と鳥の要素をプラスし、令和7年1月1日付で改正

○金山町緑の憲章 平成14年6月2日 告示第41号 ※下線部が改正部分です

明治11年7月に訪れた英国の旅行家イザベラ・バードが「ロマンチックな雰囲気のある里」と賛美した金山町の緑豊かな風景は、100年以上の時を経た今も変わることなく、四季を彩りながら日々の暮らしに豊かさと安らぎをもたらしている。

それは、私たち町民の誇りである。

私たちは、先人たちのたゆまぬ努力に感謝し、守り育てられてきた緑の自然を慈しみながら第53回全国植樹祭並びに令和7年1月1日町制施行100周年を記念して、次のように町の木、花、鳥を定める。

一、 金山町の文化、産業、住宅及び景観に深く関わりを持ち、町民と町の発展性の

象徴として、天空に真つ直ぐに伸びていく「金山杉」

一、 山形県の母なる川「最上川」の支川上流域に位置する「水清き町金山」に、四季を彩りながら清らかな水や爽やかな空気をもたらし、豊かな自然環境の証である「ぶな」

一、 白い花(4枚の苞片)や球状の赤い実をつける美しさは、この町に住む人の心を表し、切り妻で白壁の街並み景観に映える「やまぼうし」

一、 長い年月、先人たちが林業と共存した証の地に咲き、人々の心と雪どけの里山に春を告げる可憐な花「かたくり」

一、 悠久の四季めぐる神室山の麓を大きな翼で雄大に飛翔する姿は、金山町を新しい時代へ勇壮に羽ばたかせる「熊鷹」

これらの町の木、花、鳥を基に、新たな文化を創造しながら、この美しい里山の景観と豊かな自然を次代へ確実に引き継ぐことを決意し、「金山町緑の憲章」を制定する。

10 町のキャラクター制作について

金山町中高生ボランティアサークルSUGI★スターズが、ホシカワデザイン様とコラボし、町の特産品を使ったキャラクター制作を行っています。中高生の自由なアイデアを尊重しながら、100周年記念事業としての「公式キャラクター化」なども含め、制作を続けていきます。令和6年3月からファミリーマートや神室管理棟で500円ガチャとしてハンドタオルを販売しています。

“ 金山町のフシギなようせいさん ”

カラーバージョン



1 1 全戸配布記念品 （※記念誌を除く）

ミニバラ：「チュチュ・オプティマ」

バレリーナの様な繊細でエレガントなミニバラ。
淡いピンク色の可愛い花びらが人気で、発売
以来ガーデナーに根強い人気を誇っています。
ミニバラは第一に華やかでお祝いに適している、
第二に育てやすい、第三に1年を通して繰り返し
咲く、という以上の理由から選定しました。
※フラワーコネクション事業の一環として R7.
9月26日～29日に地区のご協力により配布



1 2 金山町未来ビジョン宣言について（広報 R6.11 月号へ掲載）

「かねやま未来ビジョン宣言」

わたしたちは、先人たちが紡いできた歴史や想いに感謝し、100年先も持続可能で、誇りあるまちづくりの実現のため、次のように「かねやま未来ビジョン」を宣言します。

1. 安全で安心してくらせる町を目指し、健康長寿で心の豊かさを追求する町民を増やしていきます。
2. 金山町に住んで、働き、子育てしてハッピーに暮らすため、みんなで支え合いながら、心地よい地域をデザインしていきます。
3. 社会の変化や多様性を柔軟に受け入れ、未来ある子どもたちに引き継いでいけるような持続可能なまちづくりを進めていきます。
4. デジタルの力で、くらしや社会を変革し、伝統と文化を融合した快適で活力ある町にするため、金山町は日々進化していきます。
5. 豊かな自然環境に感謝するとともに、カーボンニュートラルを推進し、風景と調和した美しい景観を守りながら、健全で活気ある農林業と商工業を未来に引き継いでいきます。

令和6年10月5日

金山町長 佐藤 英司

１３ 実績及び今後のスケジュール

時 期	実 施 内 容
R5. 7. 18	第 1 回実行委員会開催
R5. 8. 4	広報 8 月号へ事業概要や募集記事掲載
R5. 9 月	9 月議会へ関連補正予算計上
R5. 10 月～11 月	R6-7 年度事業案の全体調整、プレイベントを実施
R5. 10. 20	式典記念映像審査会開催
R5. 11. 13	ロゴ・キャッチフレーズ審査会開催
R5. 11. 27	第 2 回実行委員会開催
R6. 1. 5	広報 1 月号（1/5 発行）へ第 2 回実行委員会概要掲載
R6. 3 月	3 月議会で R6 事業案を提案
R6. 3 月	公共施設へ 100 周年周知看板設置
R6. 3. 19	第 3 回実行委員会開催
R6. 4 月～	町の花・鳥を公募（5 月 24 日まで）広報 4 月号へ折込
R6. 4 月～	通年で記念事業を開催
R6. 4 月～	商品券取扱店等ポスター掲示開始
R6. 6 月中旬	町の花・鳥選定審査会
R6. 7 月下旬	未来ビジョン宣言決定
R6. 7. 9	第 4 回実行委員会開催
R6. 9. 17	第 5 回実行委員会開催 ※花・鳥最終決定、緑の憲章案、未来ビジョン宣言報告
R6. 10. 5	式典・祝賀会開催（山形新聞へ見開き広告）
R6. 10 月～11 月	R7 年度事業案の全体調整
R6. 11 月下旬	第 6 回実行委員会開催
R6. 12. 31	山形新聞へ広告記事掲載
R7. 1. 1	町制施行 100 周年 ※金山町緑の憲章改定 祝砲、町広報放送と行政情報ナビで町長メッセージ配信
R7. 1. 10	広報 1 月号（1/10 発行）へ 100 周年特集掲載
R7. 3 月	3 月議会で R7 年度事業案を提案
R7. 3 月下旬	第 7 回実行委員会書面開催

R7. 5 月	記念誌完成、全戸配布
R7. 5-9 月	緑の憲章ロゴマーク制作
R7. 10. 9	第 8 回実行委員会開催
R7. 12 月	総括について議会行政報告
R7. 12 月	山形新聞へ町政 P R 広告、緑の憲章ロゴマークお披露目

1 4. 記念映像



(1) 作品内容

夏の始まりに「伝説の竜馬」を見た中学生、他県から移り住み林業を愛する青年、ニラ農家を営みながら金山の変化を見守ってきた夫婦を軸に、町民の日常と美しい街並みや自然、歴史、インタビューなど、ドキュメンタリー要素を織り交ぜた神秘的なストーリー。

185名の町民の皆さんからご出演いただいた町民参加型ショートフィルムに、シンガーソングライターの北村蒨さんが書き下ろした楽曲で彩りを添えています。

制作委託業者 株式会社アドビューロ様、映像制作 cobne.、STROBE LIGHT、制作 金山町の100周年記念事業として制作した作品です。

(2) 各種コンテスト受賞内容

- ・東北映像フェスティバル 特別賞（応募30作品中）
- ・BRANDED SHORTS 2025 観光庁長官賞（応募660作品中）
- ・映文連アワード2025 ソーシャルコミュニケーション部門 部門賞
(応募157作品中)

(3) R7 スピンオフ映像制作

町制施行100周年記念映像の主題歌「りゅう」を題材に、金山中学校3年生の視点から町の歴史や伝統、町民のくらしや思い、ふるさとへの愛着心を深める様子を映像化し発信する事業。

中学校の合唱祭で生徒が「りゅう」を合唱予定で、上記の学習の様子を含めて、約20分のドキュメント映像を制作します。

(4) オリジナルソング「りゅう」 作詞作曲 北村 落

風が止み 雫の音が 背を包む 光は闇 目を凝らせば 移り変わる

北西の鳥 飛び立つ時 街並みも 顔色を変えず 佇んでる

雪解けを待つ 木の幹 針のように 慎ましく光った暮らしを見た

峰を四方にめぐらして模る私の輪郭を
瞳 輝きは波紋のように どこまでも続いてゆける

一番星 霧の中も輝いて 眠る瞼に 夢を添えてゆく

先行く人追う眼差し 忘れぬように 刻んでく 時を超えた想い

蕾開く時を待って 囁き出す水や花びら
瞳 輝きの源を知り この時もまた巡ってく

峰を四方にめぐらして模る私の輪郭を
瞳 輝きは波紋のように どこまでも続いて

蕾開く時を待って 囁き出す水や花びら
瞳 輝きの源を知り この時もまた

峰を四方にめぐらして模る私の輪郭を
瞳 輝きは波紋のように どこまでも続いてゆける